

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2002-101284

(43)Date of publication of application : 05.04.2002

(51)Int.Cl.

H04N 1/387
B41J 5/30
B41J 29/38
H04M 11/00
H04N 1/00

(21)Application number : 2000-286318

(71)Applicant : RICOH CO LTD

(22)Date of filing : 21.09.2000

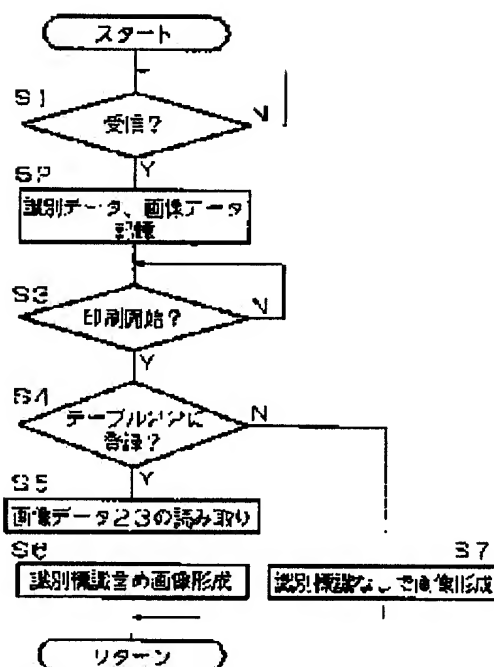
(72)Inventor : MARUYAMA KIMIKO

(54) FACSIMILE APPARATUS

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To facilitate arrangement according to senders for received images after printing.

SOLUTION: When transmission data from a remote is received (Y of step S1), included identification data is decided and stored in a RAM, and included image data is stored in an image memory (step S2). Whether the identification data stored in the RAM is registered with the table or not is judged by referring to the previously registering table, and when the data is registered with the table, image data constituted of font data or the like registered with the table is read corresponding to the identification data (steps S4 and S5). This image data and the image data of the received image stored in the image memory are used, and a recorder forms the image including the identification index represented by the image data registered with the table at the received image (step S6).



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of

rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision
of rejection]

[Date of extinction of right]

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2002-101284

(P2002-101284A)

(43) 公開日 平成14年4月5日(2002.4.5)

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テマコード*(参考)
H 0 4 N 1/387		H 0 4 N 1/387	2 C 0 6 1
B 4 1 J 5/30		B 4 1 J 5/30	Z 2 C 0 8 7
29/38		29/38	Z 2 C 1 8 7
H 0 4 M 11/00	3 0 3	H 0 4 M 11/00	3 0 3 5 C 0 6 2
H 0 4 N 1/00		H 0 4 N 1/00	C 5 C 0 7 6

審査請求 未請求 請求項の数 6 O L (全 6 頁) 最終頁に続く

(21) 出願番号 特願2000-286318(P2000-286318)

(22) 出願日 平成12年9月21日(2000.9.21)

(71) 出願人 000006747

株式会社リコー

東京都大田区中馬込1丁目3番6号

(72) 発明者 丸山 王子

東京都大田区中馬込1丁目3番6号 株式会社リコー内

(74) 代理人 100101177

弁理士 柏木 慎史 (外2名)

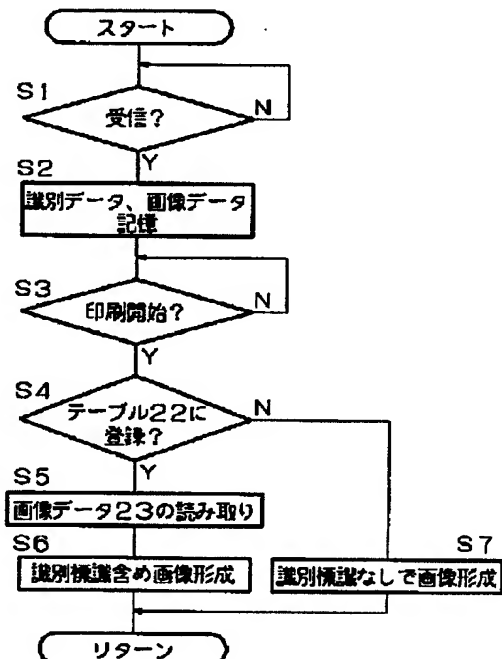
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 ファクシミリ装置

(57) 【要約】

【課題】 印刷後の受信画像について送信先別の整理が容易とすることである。

【解決手段】 相手装置から送信データを受信したときは(ステップS1のY)、含まれている識別データを判別してRAMに記憶し、また含まれる画像データを画像メモリに記憶する(ステップS2)。そして、予め登録されているテーブルを参照して、RAMに格納した識別データが、テーブルに登録されているか否かを判断し、登録されていたときはその識別データに対応付けてテーブルに登録されているフォントデータなどから構成される画像データを読み取る(ステップS4、S5)。この画像データと、画像メモリに記憶されている受信画像の画像データとを用いて、記録部で受信画像にテーブルに登録された画像データが表わす識別標識を含めた画像の形成を行う(ステップS6)。



【特許請求の範囲】

【請求項 1】 ネットワークを介して送信先から送られてきた画像データを受信し、この受信画像の形成を用紙上に行うファクシミリ装置において、前記受信画像の画像データから前記送信先を識別する識別データを判別する判別手段と、前記識別データと前記送信先を識別する識別標識とを対応付けて記憶している記憶装置と、前記判別手段で判別された前記識別データと対応している前記識別標識を前記受信画像の形成がなされた前記用紙に付加する付加手段と、を備えていることを特徴とするファクシミリ装置。

【請求項 2】 前記記憶装置は、前記識別データと前記識別標識の画像データとを対応付けて記憶していて、前記付加手段は、前記判別手段で判別された前記識別データと対応している前記識別標識の画像データと前記受信画像の画像データとを用いて、前記受信画像に前記識別標識を含めた画像の形成を行うことを特徴とする請求項 1 に記載のファクシミリ装置。

【請求項 3】 前記記憶装置は、前記形成画像中での位置により前記送信先を識別する前記識別標識を記憶していることを特徴とする請求項 2 に記載のファクシミリ装置。

【請求項 4】 前記記憶装置は、パターンにより前記送信先を識別する前記識別標識を記憶していることを特徴とする請求項 2 または 3 に記載のファクシミリ装置。

【請求項 5】 カラー画像の形成が可能であって、前記記憶装置は、色彩により前記送信先を識別する前記識別標識を記憶していることを特徴とする請求項 2～4 のいずれかの一に記載のファクシミリ装置。

【請求項 6】 前記記憶装置は、1 または複数の前記識別標識の画像データを予め記憶していて、当該各識別標識の画像データに対応付けて前記識別データを記憶する記憶エリアを備えており、前記識別標識を指定して当該識別標識に対応付けられている前記記憶エリアに記憶する前記識別データを入力することを受付ける入力手段と、この入力された識別データを前記識別標識に対応付けられている前記記憶エリアに記憶する記憶手段と、を備えていることを特徴とする請求項 2～5 のいずれかの一に記載のファクシミリ装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】この発明は、受信した画像に当該画像の送信先の識別標識を付して画像形成を行うことができるファクシミリ装置に関する。

【0002】

【従来の技術】特開平 7-184016 号公報には、ファクシミリで受信した画像データを送信相手先別に分けるために、送信先の識別番号毎に排紙口を分ける技術が開示さ

れている。

【0003】また、特開平 5-22509 号公報には、ファクシミリで受信した画像データの相手局 ID が予め登録されているものであるときは、その画像データだけをカードメモリに送信するようにして、受信回数の多い相手局からの受信原稿を選り分けることを可能とする技術が開示されている。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、特開平 7-184016 号公報に開示の技術では、排紙トレイが 1 つしか無い場合には使用できないという不具合があった。

【0005】また、特開平 7-184016 号公報、特開平 5-22509 号公報に開示の技術では、複数の送信先から受信した受信画像を印刷出力した用紙を 1 冊のファイルにまとめる場合などには、後でファイルなどにまとめた画像を閲覧する場合には、そのままではどの送信先から受信した画像なのかが一見しただけではわかりずらく、これを防止するためには、ユーザが受信画像を印刷した用紙に送信先の名称、氏名などの識別標識を付さなければなら

ないので、煩雑であるという不具合があった。

【0006】この発明の目的は、印刷後の受信画像について送信先別の整理が容易とすることである。

【0007】この発明の目的は、この場合に識別標識の付加を簡易な手段で実現し、製造コストを低減することである。

【0008】この発明の目的は、画像中の識別標識の位置により送信先を識別することである。

【0009】この発明の目的は、識別標識のパターンにより送信先を識別することである。

【0010】この発明の目的は、識別標識の色彩により送信先を識別することである。

【0011】この発明の目的は、予め記憶されている識別標識に対応付けて識別データを登録することをユーザ側で可能とすることである。

【0012】

【課題を解決するための手段】請求項 1 に記載の発明は、ネットワークを介して送信先から送られてきた画像データを受信し、この受信画像の形成を用紙上に行うファクシミリ装置において、前記受信画像の画像データから前記送信先を識別する識別データを判別する判別手段と、前記識別データと前記送信先を識別する識別標識とを対応付けて記憶している記憶装置と、前記判別手段で判別された前記識別データと対応している前記識別標識を前記受信画像の形成がなされた前記用紙に付加する付加手段と、を備えていることを特徴とするファクシミリ装置である。

【0013】したがって、送信先を識別する識別標識を受信画像の形成がなされた用紙に自動的に付加することができるので、印刷後の受信画像について送信先別の整理が容易である。

【0014】請求項2に記載の発明は、請求項1に記載のファクシミリ装置において、前記記憶装置は、前記識別データと前記識別標識の画像データとを対応付けて記憶していて、前記付加手段は、前記判別手段で判別された前記識別データと対応している前記識別標識の画像データと前記受信画像の画像データとを用いて、前記受信画像に前記識別標識を含めた画像の形成を行うことを特徴とする。

【0015】したがって、識別標識を用紙上に受信画像とともに画像形成することによって、識別標識を付加することができるので、識別標識の付加を簡易な手段で実現し、製造コストを低減することができる。

【0016】請求項3に記載の発明は、請求項2に記載のファクシミリ装置において、前記記憶装置は、前記形成画像中での位置により前記送信先を識別する前記識別標識を記憶していることを特徴とする。

【0017】したがって、画像中の識別標識の位置により送信先を識別することができる。

【0018】請求項4に記載の発明は、請求項2または3に記載のファクシミリ装置において、前記記憶装置は、パターンにより前記送信先を識別する前記識別標識を記憶していることを特徴とする。

【0019】したがって、識別標識のパターンにより送信先を識別することができる。

【0020】請求項5に記載の発明は、請求項2～4のいずれかの一に記載のファクシミリ装置において、カラー画像の形成が可能であって、前記記憶装置は、色彩により前記送信先を識別する前記識別標識を記憶していることを特徴とする。

【0021】したがって、識別標識の色彩により送信先を識別することができる。

【0022】請求項6に記載の発明は、請求項2～5のいずれかの一に記載のファクシミリ装置において、前記記憶装置は、1または複数の前記識別標識の画像データを予め記憶していて、当該各識別標識の画像データに対応付けて前記識別データを記憶する記憶エリアを備えており、前記識別標識を指定して当該識別標識に対応付けられている前記記憶エリアに記憶する前記識別データを入力することを受付ける入力手段と、この入力された識別データを前記識別標識に対応付けられている前記記憶エリアに記憶する記憶手段と、を備えていることを特徴とする。

【0023】したがって、予め記憶されている識別標識に対応付けて識別データを登録することをユーザ側で行うことができる。

【0024】

【発明の実施の形態】この発明の一実施の形態について説明する。

【0025】図1は、この発明の一実施の形態であるファクシミリ装置1の全体構成を示すブロック図である。

図1に示すように、主制御部2は、ファクシミリ装置1全体を集中的に制御するCPU3と、ファクシミリ装置1の各種制御プログラムを記憶したROM4と、CPU3の作業エリアとなるRAM5と、不揮発性メモリ（EEPROMなど）6とを備えている。

【0026】操作部12は、各種キーとLCDなどのディスプレイとからなり、各種の操作を受け付け、各種のメッセージなどを表示する。イメージスキャナからなる読取部11は送信原稿の画像を読み取る。符号器13は、読取部11から出力される送信原稿の画像データを圧縮符号化する。符号器13で圧縮符号化された画像データは、画像メモリ15に蓄積される。通信制御部17、モデム18およびNCU（Network Control Unit）19は、符号器13で符号化され、画像メモリ15に蓄積された画像データを、回線を介して送信相手装置に送信し、また、送信相手装置から送信データを受信する。復号器16は送信相手装置から受信した送信データに含まれる圧縮符号化された画像データを元の画像データに変換する。記録部14は、送信相手装置から受信した画像データに基づいて、電子写真プロセスなどの所定の印刷方式で用紙上に画像形成を行う。

【0027】以上のような装置構成で、読取部11に原稿をセットし、通信モード、送信相手の装置識別番号および送信開始指示が操作部12により入力されると、入力された通信モードおよび送信相手の装置識別番号が主制御部10に入力される。すると、主制御部10は、読取部11で原稿の画像を読み取り、入力された通信モードに従って送信相手装置を呼び出し、相手装置とプロトコル通信を行い、原稿の画像データの送信を開始する。この場合に、予め登録済みのCSI信号（T.30準拠）に送信側の電話番号を付加して送信を開始する。

【0028】一方、通信制御部17、モデム18およびNCU19を介して相手装置から送信データを受信すると、この送信データに含まれる送信相手を識別する識別データ（例えば、相手の電話番号）、すなわち、プロトコルの標準機能設定（CSI）信号として受信する相手の識別データ、あるいは、ISDNにおいてはDチャンネルの制御用データに含まれる相手の識別データは、主制御部10で判別され、判別された識別データは、RAM5の所定領域に記憶される。そして、送信データに含まれる画像データは画像メモリ15に記憶される。

【0029】画像メモリ15に蓄積記憶された受信画像データは、記録部14に出力し、記録部14で画像形成がなされる。

【0030】記憶装置である不揮発性メモリ6には、図2に示すテーブル21と、図3に示すテーブル22とが格納されている。テーブル21は、受信画像データについて記録部14で用紙上に画像形成する際に、受信画像データに基づく画像に付加して用紙上に形成し送信相手を識別する識別標識の画像データ23と、その属性情報

24とを対応付けたテーブルである。画像データ23はCSIを使用している。テーブル22は、属性情報24と識別データ25とを対応付けたテーブルである。画像データ23は、識別標識のフォントデータ、印字位置データ、色データ(記録部14がカラー印刷可能な場合)などからなる。この識別標識は、そのパターン、印字位置および色のうち、少なくとも1つが互いに異なることにより、送信相手を識別することが可能である。

【0031】図4は、このファクシミリ装置1で、相手装置から送信データを受信して、印刷出力するまでの処理を説明するフローチャートである。すなわち、CPU3は、相手装置から送信データを受信したときは(ステップS1のY)、受信した送信データに含まれている識別データを判別してRAM5の所定のエリアに記憶し、また、送信データに含まれる画像データを画像メモリ15に記憶する(ステップS2)。ステップS2により判別手段を実現している。そして、印刷開始の指示があったときは(ステップS3のY)、テーブル21、22を参照して、RAM5に格納した識別データが、テーブル22に識別データ25として登録されているか否かを判断する(ステップS4)。登録されていたときは(ステップS4のY)、その識別データ25に対応した属性情報24に対応付けてテーブル21に登録されているフォントデータなどから構成される画像データ23を読み取る(ステップS5)。そして、画像データ23と、画像メモリ15に記憶されている受信画像の画像データとを用いて、記録部14で受信画像に画像データ23が表わす識別標識を含めた画像の形成を行う(ステップS6)。ステップS6により付加手段を実現している。

【0032】RAM5に格納した識別データが、テーブル22に識別データ25として登録されていなかったときは(この場合、テーブル22において属性情報24として“0”が登録されている)(ステップS4のN)、記録部14で受信画像に識別標識を含めることなく、受信画像のままの画像形成を行う(ステップS7)。

【0033】図5は、画像データ23が、受信画像中での印刷位置により、送信相手を識別する識別標識である場合の例を説明する説明図である。すなわち、受信画像を印刷した用紙31中の識別標識の印刷位置は、位置1~9のいずれかをとりことができ、この位置1~9のいずれに識別標識を印刷するかにより、送信相手を識別することができる。図6は、図5の例の位置2に識別標識を表わす識別標識画像32を印刷した用紙31の例である。図7は、このように識別標識画像32を印刷した用紙31、31、…を、ファイルに閉じた場合の例を示すものである。送信相手により識別標識画像32の印刷位置が異なるので、どの送信先から受信した画像の用紙31なのかが一見ただけでわかりやすい。

【0034】そして、識別標識画像32は受信画像の形成がなされた用紙31に自動的に付加することができる

ので、印刷後の受信画像について送信先別の整理が容易である。

【0035】図8は、印字の位置ではなく、印字のパターンで送信者を識別できるようにした識別標識画像32の例を示すものである。パターン1~5まで様々なパターンの識別標識画像32の例が示されている。また、カラー画像の形成が可能な記録部14を用いる場合は、印字の色で送信者を識別できるようにした識別標識を用いてもよい。

【0036】なお、送信先から受信した画像とともに用紙31に印刷するのではなく、例えば、粘着テープなどに識別標識を印字して用紙31に貼り付けるなどの構成としてもよい。しかし、識別標識画像32を受信画像とともに印刷するように構成した方が、識別標識の付加を簡易な手段で実現し、ファクシミリ装置1の製造コストを低減することができる。

【0037】ところで、テーブル22はユーザにおいて登録をすることができる。その登録処理の手順を図9のフローチャートを参照して説明する。すなわち、図9に示すように、ユーザが操作部12を操作して識別標識登録モードを選択すると(ステップS11)、操作部12のディスプレイで識別標識画像32の選択画面が表示される(ステップS12)。この選択画面では、例えば、図5に示すような画像が表示され、テーブル21に複数(図5の例では9個)登録されている画像データ23の識別標識のうちから一つ選択することができる。この選択がなされると(ステップS13のY)、選択された画像データ23に対応して識別データ25の入力を受け付ける入力画面を操作部12のディスプレイに表示する(ステップS14)。そして操作部12を操作して入力画面上でユーザが目的の識別データ25の入力を行うと(ステップS15のY)、ステップS13で選択された画像データ23に対応してテーブル21に登録されている属性情報24を判断し、この属性情報24と識別データ25とは対応付けられてテーブル22に用意されている空エリアに記憶される(ステップS16)。ステップS13、S15により入力手段を実現し、ステップS16により記憶手段を実現している。

【0038】

【発明の効果】請求項1に記載の発明は、送信先を識別する識別標識を受信画像の形成がなされた用紙に自動的に付加することができるので、印刷後の受信画像について送信先別の整理が容易である。

【0039】請求項2に記載の発明は、請求項1に記載のファクシミリ装置において、識別標識を用紙上に受信画像とともに画像形成することによって、識別標識を付加することができるので、識別標識の付加を簡易な手段で実現し、製造コストを低減することができる。

【0040】請求項3に記載の発明は、請求項2に記載のファクシミリ装置において、画像中の識別標識の位置

により送信先を識別することができる。

【0041】請求項4に記載の発明は、請求項2または3に記載のファクシミリ装置において、識別標識のパターンにより送信先を識別することができる。

【0042】請求項5に記載の発明は、請求項2～4のいずれかの一に記載のファクシミリ装置において、識別標識の色彩により送信先を識別することができる。

【0043】請求項6に記載の発明は、請求項2～5のいずれかの一に記載のファクシミリ装置において、予め記憶されている識別標識に対応付けて識別データを登録 10
することをユーザ側で行うことができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】この発明の一実施の形態であるファクシミリ装置の電気的な接続を示すブロック図である。

【図2】前記ファクシミリ装置で使用するテーブルのデータ構成を示す説明図である。

【図3】前記ファクシミリ装置で使用する別のテーブルのデータ構成を示す説明図である。

【図4】前記ファクシミリ装置で、相手装置から送信デ*

*ータを受信して、印刷出力するまでの処理を説明するフローチャートである。

【図5】前記ファクシミリ装置で用いる識別標識の画像データが、受信画像中での印刷位置により、送信相手を識別するものである場合の例を説明する説明図である。

【図6】前記識別標識の画像の印刷例を示す用紙の平面図である。

【図7】前記用紙をファイルに閉じた場合の例を示す平面図である。

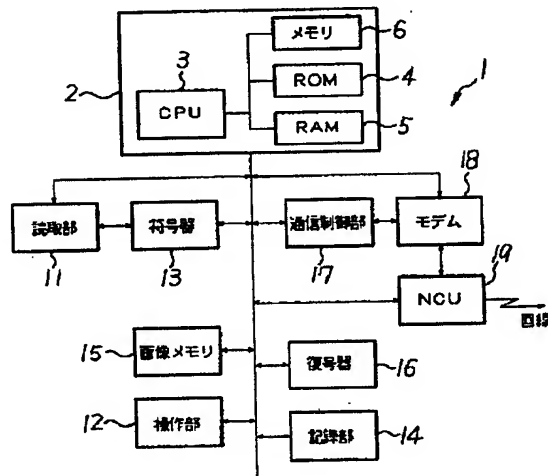
【図8】印字の位置ではなく、印字のパターンで送信者を識別できるようにした識別標識の画像の例を示す説明図である。

【図9】前記テーブルへの登録処理の手順を説明するフローチャートである。

【符号の説明】

- 1 ファクシミリ装置
- 6 記憶装置
- 23 画像データ
- 25 識別データ

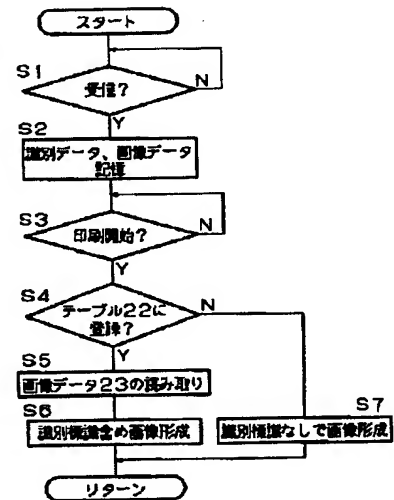
【図1】



【図2】

23	24
画像データ	属性情報
位置1	1
位置2	2
位置3	3
位置4	4
...	...
位置9	9

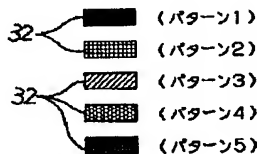
【図4】



【図3】

25	24
識別データ	属性情報
03-XXXXXX	1
045-XXXXXX	5
044-XXXXXX	7
06-XXXXXX	8
...	...
上記以外	0

【図8】



【図5】

図5は、株式会社 AB 様 株式会社 XX- に関する入力画面の一例を示す。画面には、株式会社 AB 様 株式会社 XX- の下に、図5-1から図5-9までの項目があり、それぞれに横線が引かれている。

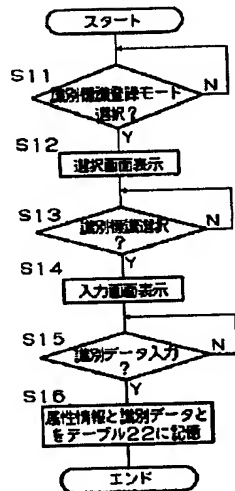
【図6】

図6は、株式会社 AB 様 株式会社 XX- に関する入力画面の一例を示す。画面には、株式会社 AB 様 株式会社 XX- の下に、横線が引かれた入力領域がある。

【図7】

図7は、株式会社 AB 様 株式会社 XX- に関する入力画面の一例を示す。画面には、株式会社 AB 様 株式会社 XX- の下に、横線が引かれた入力領域がある。また、画面の左側には、図7-1から図7-9までの項目があり、それぞれに横線が引かれている。

【図9】



フロントページの続き

(51)Int.Cl.

識別記号

F I

テーマコード(参考)

5K101

F ターム(参考) 2C061 AP03 AR01 HH03 HJ06 HK04
HN02 HN15 JJ02 JJ12
2C087 AA03 AA15 BD01 BD46 BD53
CB03 CB07
2C187 AD03 CD07
5C062 AB22 AB42 AC04 AC24 AC58
BA00
5C076 AA14 BA03 BA06 BA07
5K101 KK01 PP03